

天売島周辺の夜間の海上における海鳥の記録

長谷部 真

〒078-4116 北海道苫前郡羽幌町 北海道海鳥センター友の会

Records of Seabirds off Teuri Island at Night

Makoto HASEBE

Hokkaido Seabird Center Support Club, Haboro-cho, Tomamae-gun, Hokkaido, 078-4116 Japan

Abstract. I counted seabirds at 300m and 600m off seabird colony or 300m off other parts of Teuri Island (44°25'N, 141°18'E), by boat spotlight survey from 7th May to 26th June 2012. As nocturnal seabirds, 830 Rhinoceros Auklets *Cerorhinca monocerata* and 124 Ancient Murrelets *Synthliboramphus antiquus* were found. As diurnal seabirds, 54 Black-tailed Gulls *Larus crassirostris* and a few other seabirds, Japanese Cormorants *Phalacrocorax capillatus*, Pelagic Cormorants *P. pelagicus*, Slaty-backed Gulls *L. schistisagus* and Spectacled Guillemots *Cephus carbo* were found. Most seabirds were found off the seabird colony. Rhinoceros Auklets were more found at 600m off the seabird colony than 300m off after late in May and June.

はじめに

北海道北部の日本海沿岸に位置する天売島 (44°25'N, 141°18'E) の南西部の崖にはウミウ *Phalacrocorax capillatus*, ヒメウ *P. pelagicus*, オオセグロカモメ *Larus schistisagus*, ウミネコ *L. crassirostris*, ウミガラス *Uria aalge*, ケイマフリ *Cephus carbo*, ウミスズメ *Synthliboramphus antiquus*, ウトウ *Cerorhinca Monocerata* が繁殖する (環境省, 2013; 長谷部・大槻, 2012; 天売海鳥研究室, 未発表). これまで天売島周辺海上ではケイマフリを中心に日中に個体数調査が行われてきたが (環境省, 2013), 夜間の海上で調査が行われたことはない. 夜間の海上における海鳥の調査は, これまで崖など人が近づけない場所で繁殖する夜行性のウミスズメ属の個体数を調べる目的で行われてきた (Whitworth *et al.*, 1997, Whitworth *et al.*, unpubl. report). ウミスズメ属の調査中に他のウミスズメ科, ウ科, ペリカン科, カモメ科, アビ科, カイツブリ科, ミズナギドリ科が確認されて

いる (Carter *et al.*, unpubl. data, Whitworth per. com.). 本調査では天売島周辺海上で夜行性のウトウとウミスズメを中心に夜間の海上における海鳥の生息状況を明かにすることを目的とする.

調査地域・方法

2012年5月7日から6月26日までの8回, 風の日を選んで21:00-23:00に天売島の海鳥繁殖地の300m沖, 600m沖, または海鳥繁殖地以外の300m沖を小型船で10km/hで航行した (図1). 1名が船首から前方に向き左90°から真正面までと右90°から真正面を300万カンデラのライト (Brinkmann co. Qbeam Max Million III) を用いて交互に照らし, 片側100mずつの範囲で飛翔する又は浮いている海鳥の種・個体数とGPSで航路上の位置を記録した. ウミスズメとウトウの確認個体数に海鳥繁殖地の300m沖と600m沖で差があるか調べるためにT検定を行った.

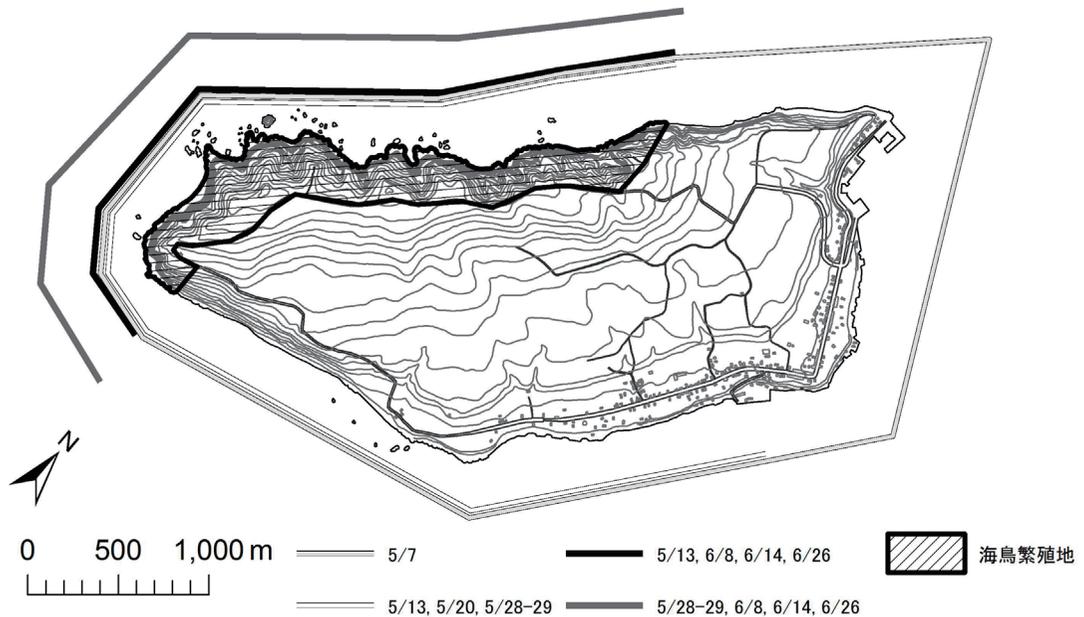


図1. 夜間海鳥調査経路. 海鳥繁殖地周辺300m沖(黒線), 600m沖(濃灰線), 島1周300m沖(薄灰線), 島半周300m沖(白線).
Figure 1. Line transect for seabird night survey. 300m (black line) and 600m (dark gray line) off seabird colony (slashed polygon), and 300m off round-island (light gray line) or half round-island (white line).

表1. 夜間海上調査による海鳥の個体数 Number of seabirds in the sea by night survey.

種 Species	地域 Area	海岸からの距離 Distance from coast	日付 Date								
			5/7	5/13	5/20	5/28	5/29	6/8	6/14	6/26	
ウミウ Japanese Cormorant	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	6	1	0	0	1	0	0	0	
		600m	-	-	-	0	0	0	0	0	
	その他 Others	300m	0	0	0	0	0	-	-	-	
ヒメウ Pelagic Cormorant	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	0	1	4	0	0	0	0	0	
		600m	-	-	-	0	0	0	0	0	
	その他 Others	300m	0	0	0	0	0	-	-	-	
オオセグロカモメ Slaty-backed Gull	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	1	3	3	0	1	0	0	4	
		600m	-	-	-	0	0	0	1	0	
	その他 Others	300m	0	0	0	0	0	-	-	-	
ウミネコ Black-tailed Gull	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	7	30	54	15	10	4	5	9	
		600m	-	-	-	35	4	0	0	5	
	その他 Others	300m	4	18	0	4	0	-	-	-	
ケイマフリ Spectacled Guillemot	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	0	0	3	0	0	0	0	0	
		600m	-	-	-	4	0	0	0	0	
	その他 Others	300m	0	0	0	0	0	-	-	-	
ウミスズメ Ancient Murrelet	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	0	11	10	4	12	83	70	2	
		600m	-	-	-	34	9	124	70	6	
	その他 Others	300m	0	0	0	0	0	(-1)	(-2)	-	
ウトウ Rhinoceros Auklet	海鳥繁殖地 Seabird colony	300m	173	21	830	7	13	15	32	18	
		600m	-	-	-	38	62	100	180	70	
	その他 Others	300m	2	4	0	0	10	-	-	-	

- は未調査 () 内は未調査時の目撃数. - indicates no survey. Number in () is that by incidental observations.

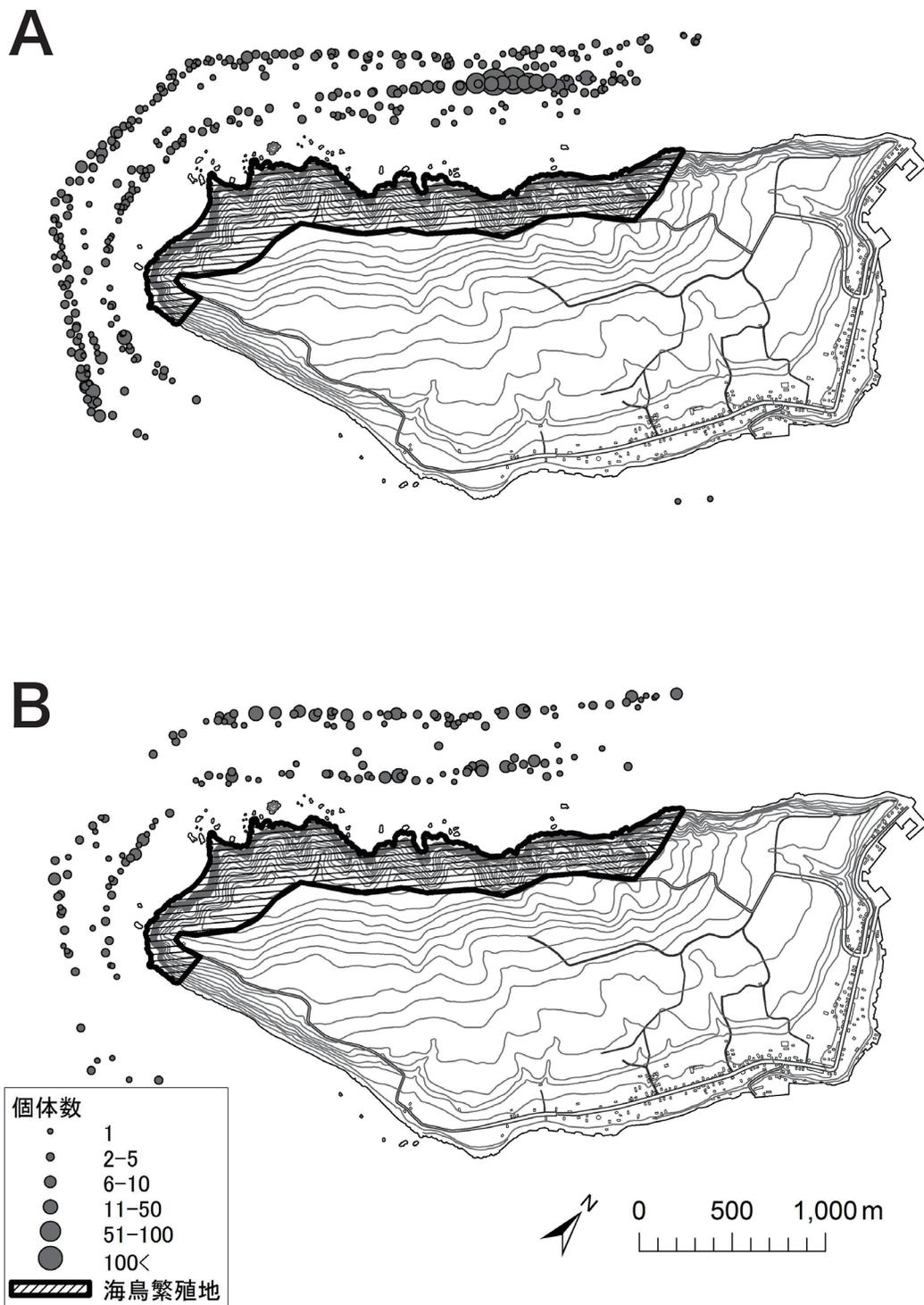
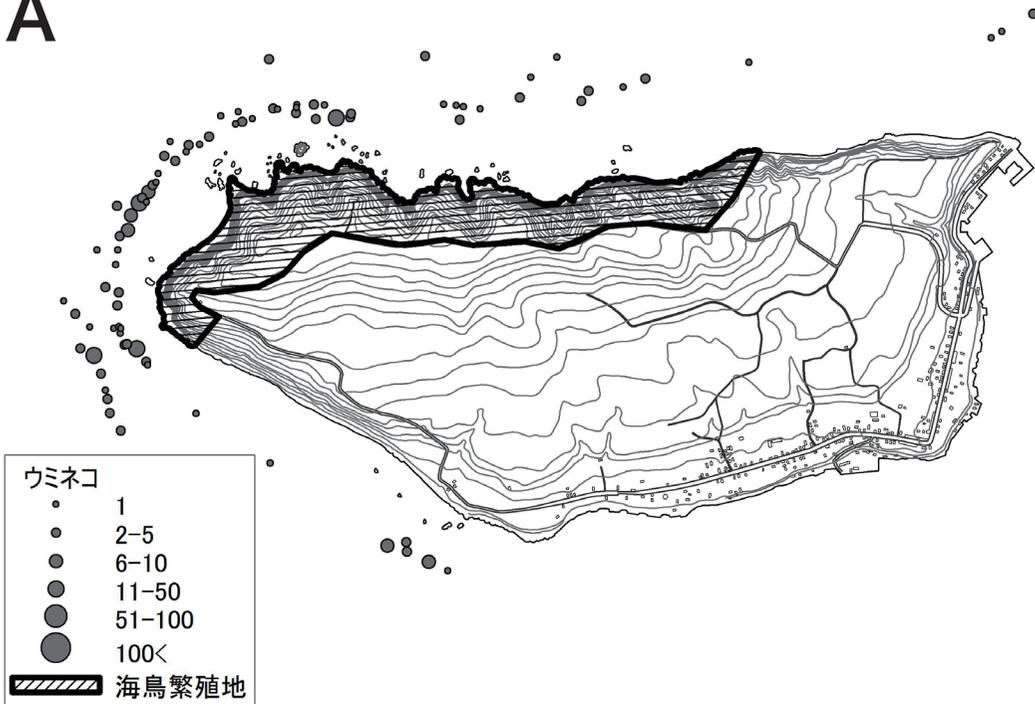


図2. 5/7-6/26に夜行性海鳥を目撃した航路上の位置と個体数. A, ウトウ; B, ウミスズメ.

Figure 2. Number of nocturnal seabirds and position of the boat at which the seabirds were found from 5/7 to 6/26. Slashed polygon represents seabird colonies. A, Rhinoceros Auklet; B, Ancient Murrelet.

A



B

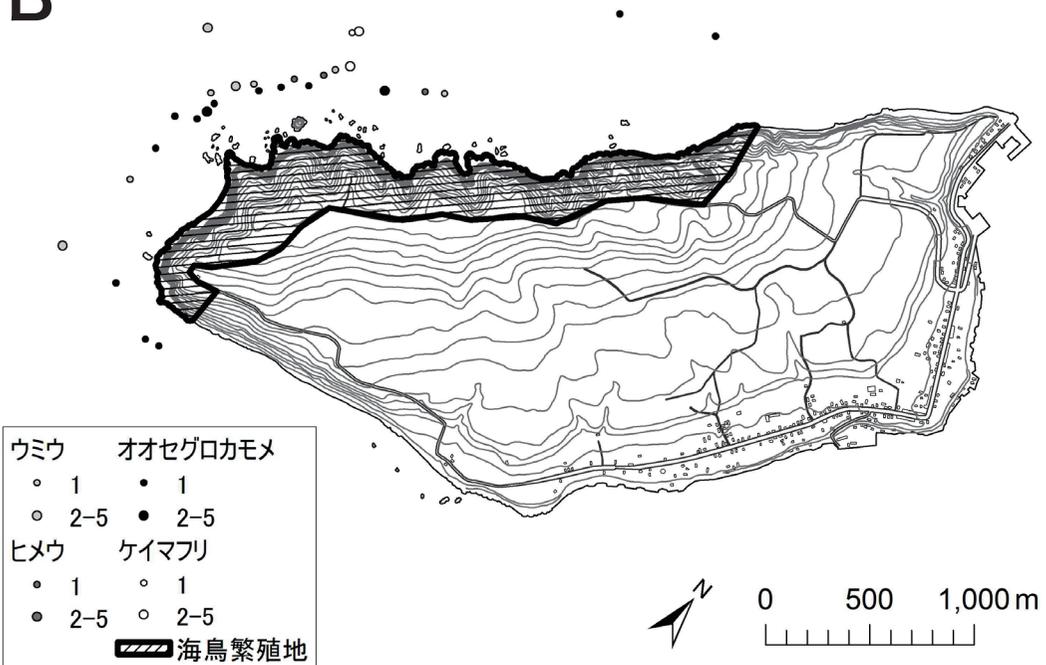


図3. 5/7-6/26に昼行性海鳥を目撃した航路上の位置と個体数. A, ウミネコ; B, ウミウ・ヒメウ・オオセグロカモメ・ケイマフリ.
 Figure 3. Number of diurnal seabirds and position of the boat at which the seabirds were found from 5/7 to 6/26. Slashed polygon represents seabird colonies. A, Black-tailed Gull; B, Japanese Cormorant, Pelagic Cormorant, Slaty-backed Gull and Spectacled Guillemot.

調査結果と考察

ウトウは6月8日を除いて最も多く目撃し、5月20日の海鳥繁殖地300m沖で830羽だった(表1)。ウトウはこの時期夕暮れ時に一斉に繁殖地へ飛来するが、夜の海上にもいることがわかった。ウトウのほとんどを海鳥繁殖地周辺の海上で目撃した(図2A)。5月28日以降は、300m沖より600m沖で多くの個体を確認した($t=3.53$, $d.f.=4$, $p=0.02$, 表1)。ウトウはこの時期夕暮れ前に繁殖地から数百m以上離れた場所に集まって浮いているため、夜も海岸からやや離れた場所に多くいる可能性がある。

ウミスズメは6月8日と14日に多く目撃し、6月8日は海鳥繁殖地の600m沖で124羽だった(表1)。5月28日以降の300m沖と600m沖の個体数に有意な差はなかった($t=1.63$, $d.f.=4$, $p=0.18$)。日中には天売島の海鳥繁殖地以外の沖合でもウミスズメが目撃されているが(青塚松寿 私信)、夜は海鳥繁殖地周辺海上に集中していた(図2B)。

ウミネコは5月13日から28日にかけて多く、5月20日に54羽だった(表1)。最も多く目撃したのは海鳥繁殖地南西部の海上であったが、海鳥繁殖地以外のウミネコのねぐらがある島の南東部や北東部の海上でも目撃された(図3A)。ウミウ・ヒメウ・オオセグロカモメ・ケイマフリは少数が海鳥繁殖地周辺海上で目撃された(表1, 図3B)。

全体として夜行性のウトウとウミスズメの個体数が多かったが、昼行性の海鳥はウミネコを中心にウミウ・ヒメウ・オオセグロカモメ・ケイマフリが夜間の海上にもいることがわかった。調査で目撃され

なかったウミガラスも抱卵期の夜間に抱卵個体以外がいなくなったことから(環境省2013)、この時期の夜間に海上にいることが示唆される。海鳥の夜間海上調査を今後も行うことで海鳥の夜間の海上での行動が明かになることが期待される。

謝辞

調査にあたり助成金をいただいた一般財団法人セブンイレブン記念財団、調査に協力していただいた岩澤光子氏、渡邊雄児氏、先崎理之氏、藪越ゆりか氏、鈴木優也氏、黒田弘章氏、伊藤元裕氏、川那部真氏、石川隆史氏、調査計画の祭に多くの助言をいただいた大槻都子氏、調査機材を貸していただいた武石全慈氏、調査のとりまとめの際に助言をいただいたDarrell Whitworth氏、Harry Carter氏に厚く御礼申し上げます。

文献

- 長谷部 真・大槻都子, 2012. 天売島におけるウミスズメの個体数と繁殖記録. 日本鳥学会2012年大会(100周年記念大会)講演要旨集: 85. 日本鳥学会, 東京.
- 環境省北海道地方環境事務所, 2013. 平成24年度ウミガラス保護増殖事業報告書. 北海道地方環境事務所, 札幌.
- Whitworth, D. L., J. Y. Takekawa, H. R. Carter & W. R. McIver, 1997. A night-lighting technique for at-sea capture of Xantus' Murrelets. *Colonial Waterbirds*, 20: 525-531.